



Colorbration⁺
ユーザーガイド

> 目次

はじめに.....	3
Colorbration+ってどんなものですか?	3
対応ディスプレイ製品	3
対応測色センサー	3
セットアップ	4
Colorbration+はどうやって取得しますか?	4
接続方式	5
HDMI、DisplayPortでお使い	5
USB Type Cでお使い	6
測色センサーの接続方式	7
Colorbration+をお使い	8
ご紹介	8
Basic Mode	9
Advanced Mode	11
サイドバーメニュー	14
Device Selectionメニュー	14
Calibration メニュー	16
Verification メニュー	23
History メニュー	24
付録	25
ソフトウェアアップデート	25

> はじめに

Colorbration+ ってどんなものですか？

色の正確さは、クリエイティブワークの最も重要な側面の1つであり、ディスプレイは、元のイメージやデジタルファイルの色を正確に表すことが重要です。このソフトウェアでは、次のことが可能です。

- ・ ディスプレイをすばやく簡単にキャリブレーションおよびプロファイルできます。
- ・ ホワイトポイント、輝度、コントラスト比、ガンマなどを制御します。
- ・ 通常、モニタの調整に伴う時間、コスト、推測作業、およびフラストレーションを節約できます。
- ・ 正確な色の環境で仕事に集中できる。

対応ディスプレイ製品型番

Colorbration+は下記型番に対応しております：

- ・ VP2458
- ・ VP2468
- ・ VP2768
- ・ VP2768-4K
- ・ VP2771
- ・ VP2785-4K
- ・ VP3268
- ・ VP3881

対応測色センサー

現在対応している測色センサーは下記でございます：

- ・ X-Rite:
 - ・ i1 Display Pro
 - ・ i1 Pro 2
 - ・ ColorMunki Photo
 - ・ ColorMunki Design
 - ・ i1Studio
- ・ Datacolor
 - ・ Spyder 5
 - ・ Spyder X series

> セットアップ

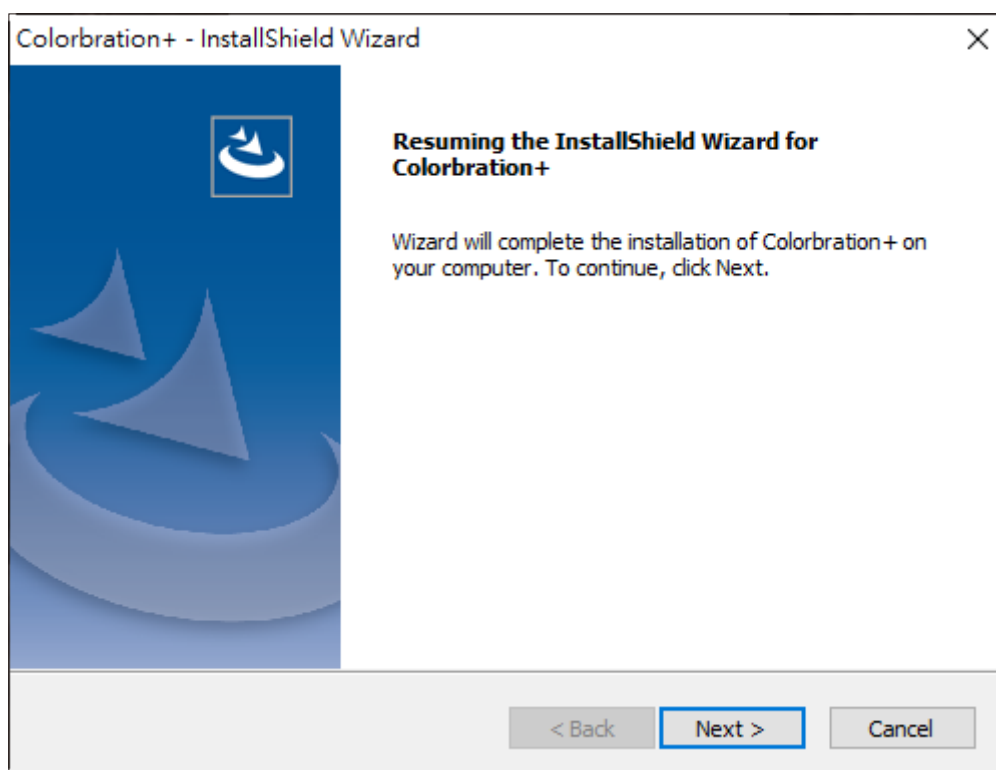
本章では、Colorbration+をお使いになるための重要な手順をご説明いたします。

Colorbration+ はどうやって取得しますか？

Colorbration+ソフトウェアは下記リンク先にてダウンロードしてください。

<https://color.viewsonic.com/support/software>

ダウンロードしたセットアップファイルを起動し、画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

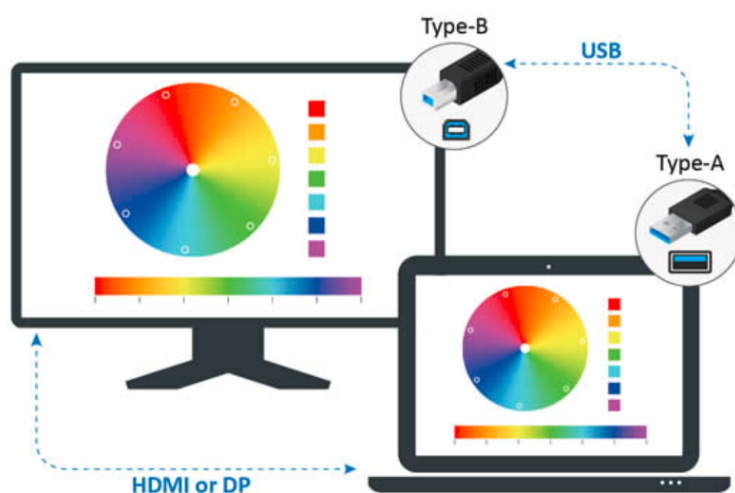


接続方式

ソフトウェアをダウンロードした後、ディスプレイと測定デバイスが正しく接続されていることを確認します。ディスプレイを接続するには、次の2つの方法があります。

HDMI または DisplayPortで接続する場合

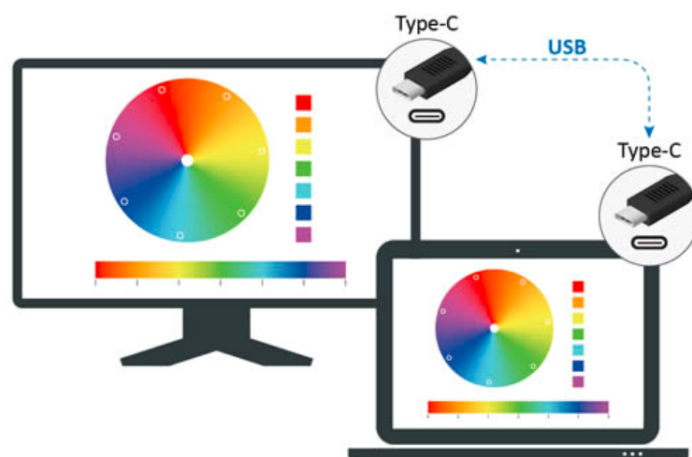
HDMIまたはDisplayPort接続とは別に、USB Type-A/Bケーブルでディスプレイとパソコンを接続する必要があります。



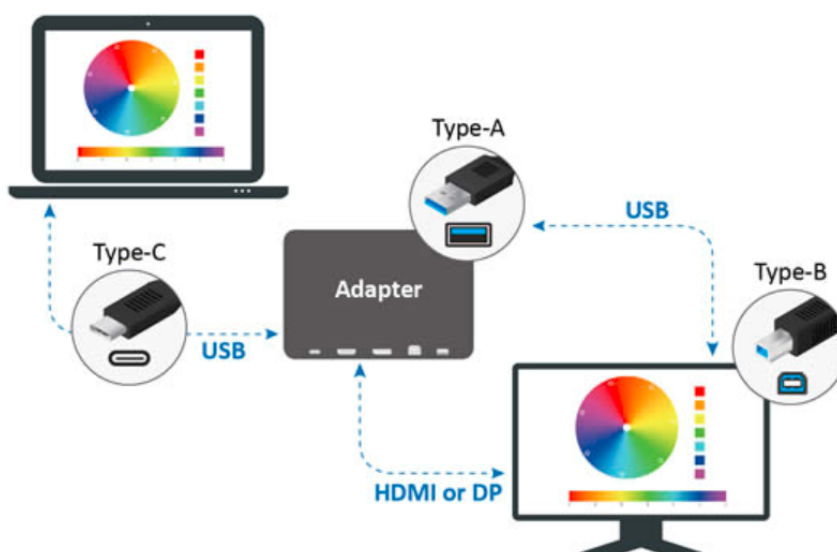
USB Type-Cで接続する場合

USB Type-Cで接続する場合、ディスプレイとパソコンを下記2つの方法で接続できます。

- ・ USB Type-Cケーブルを利用する。



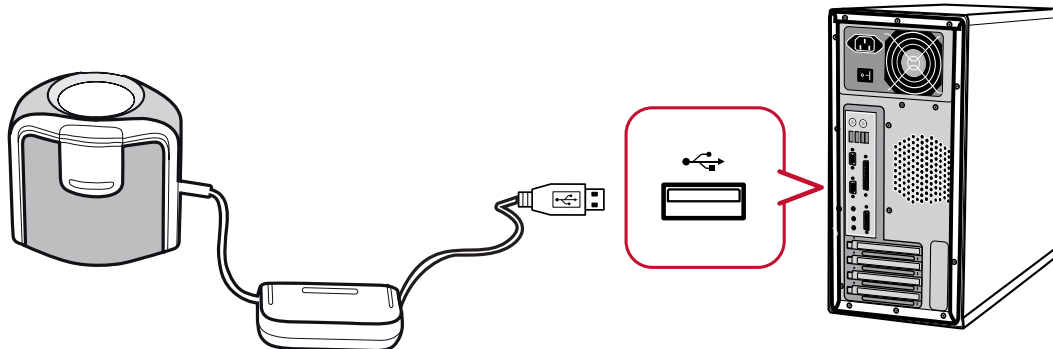
- ・ または、HDMI/DisplayPortおよびUSB Type-Aを経由し、USB Type-Cアダプターによりディスプレイに接続します。



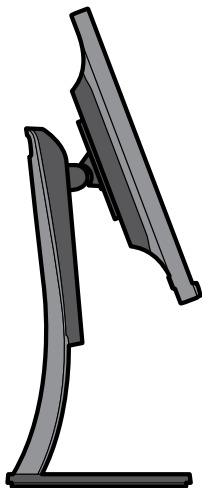
測色センサーの接続方式

注意事項: 以下の画像は参照用です。接続方法は、使用する測色センサーによって異なります。詳細については、該当測色センサーのユーザーマニュアルにてご確認ください。

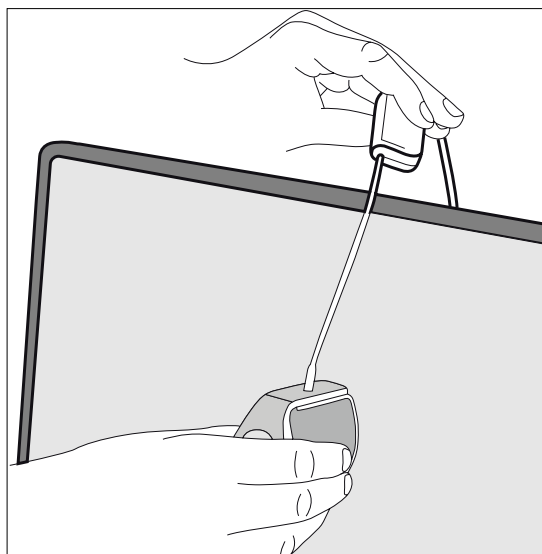
1. 測色センサーをパソコンのUSB Type-Aポートに正しく接続します。



2. ディスプレイを少し上に傾けます。



3. ディスプレイ測色センサーをディスプレイの正面の真ん中に慎重に接触します。



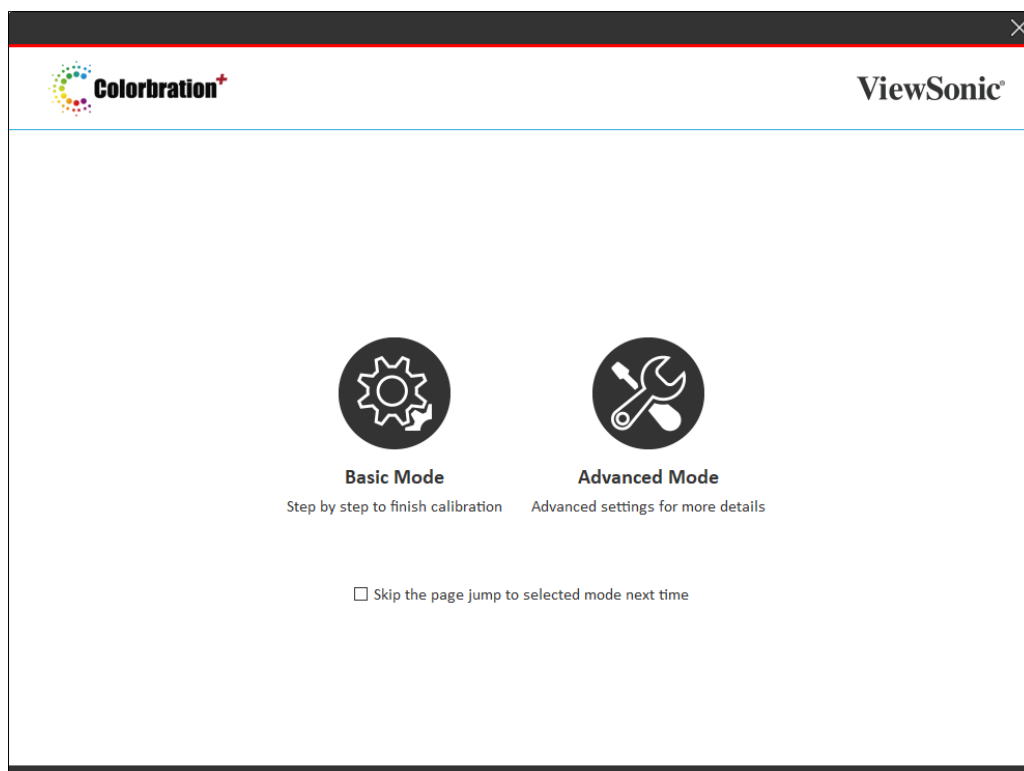
> Colorbration+ の使い方

本章では、Colorbration+の使用と操作についてご説明いたします。

ご紹介

Colorbration+を最初に起動すると、下記2つのモードを選択できます。

- Basic Mode
- Advanced Mode



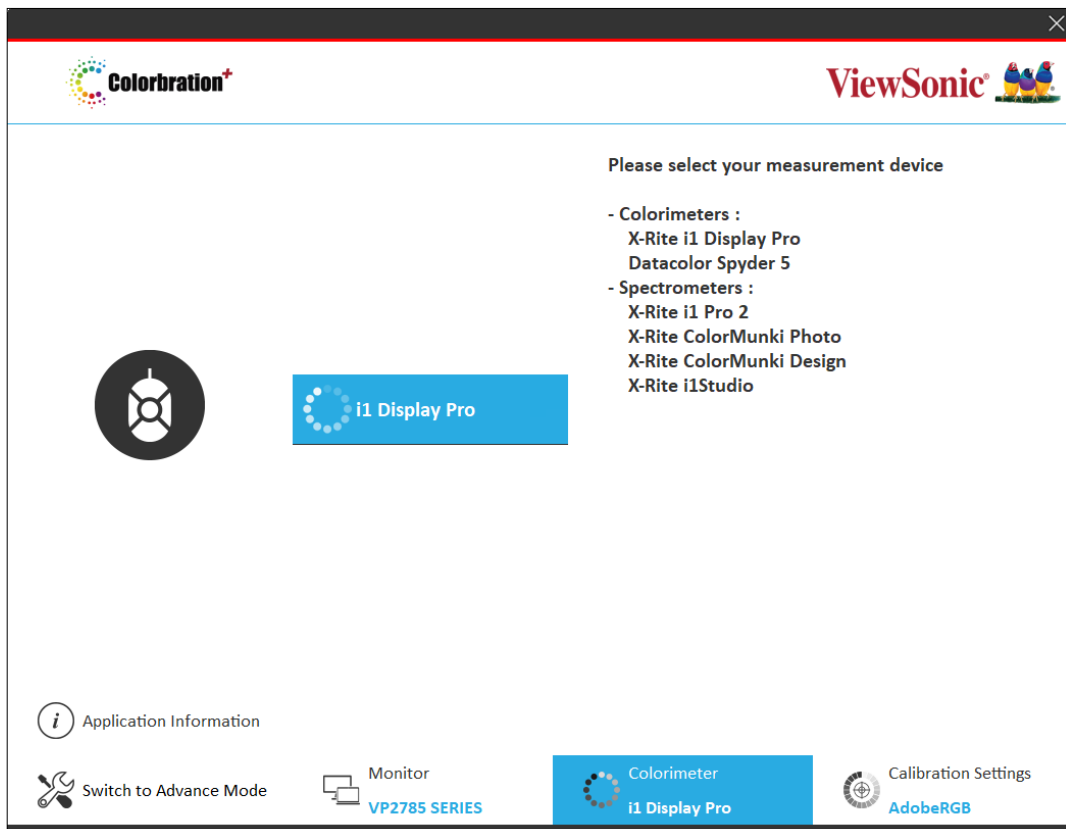
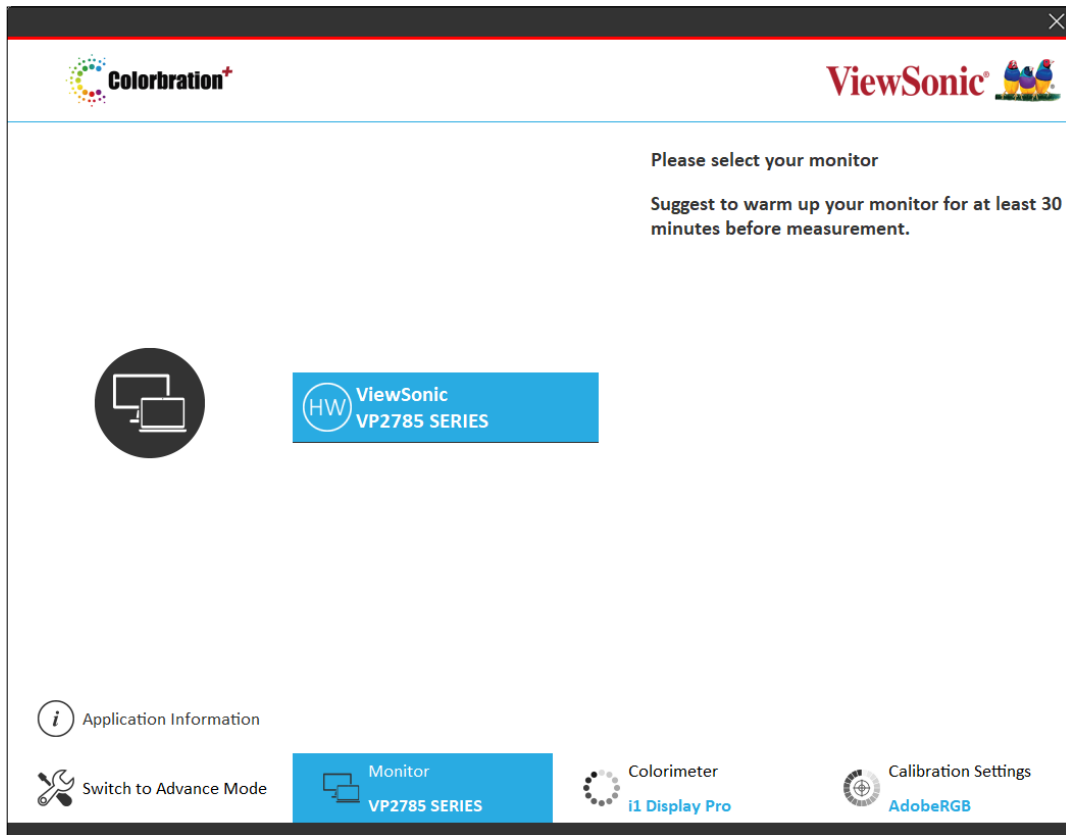
- 注意事項:
1. Windows版 Colorbration+を使用する前に、液晶ディスプレイのOSDにて、カラー調整 > カラーフォーマット > 「RGB(全範囲)」を選択してください。
 2. ユーザーは、2つのモードの下にあるボックスをクリックすることで、このページをスキップできます。

Skip the the page and jump to selected mode next time.



Basic Mode

このモードは、キャリブレーションプロセスを簡素化します。ユーザーは、キャリブレーションを開始する前に、ディスプレイ、測色センサー、キャリブレーション設定を選択するだけです。



The screenshot displays the Colorbration software interface for ViewSonic. The top left features the Colorbration logo, and the top right shows the ViewSonic logo. The main area is divided into several sections:

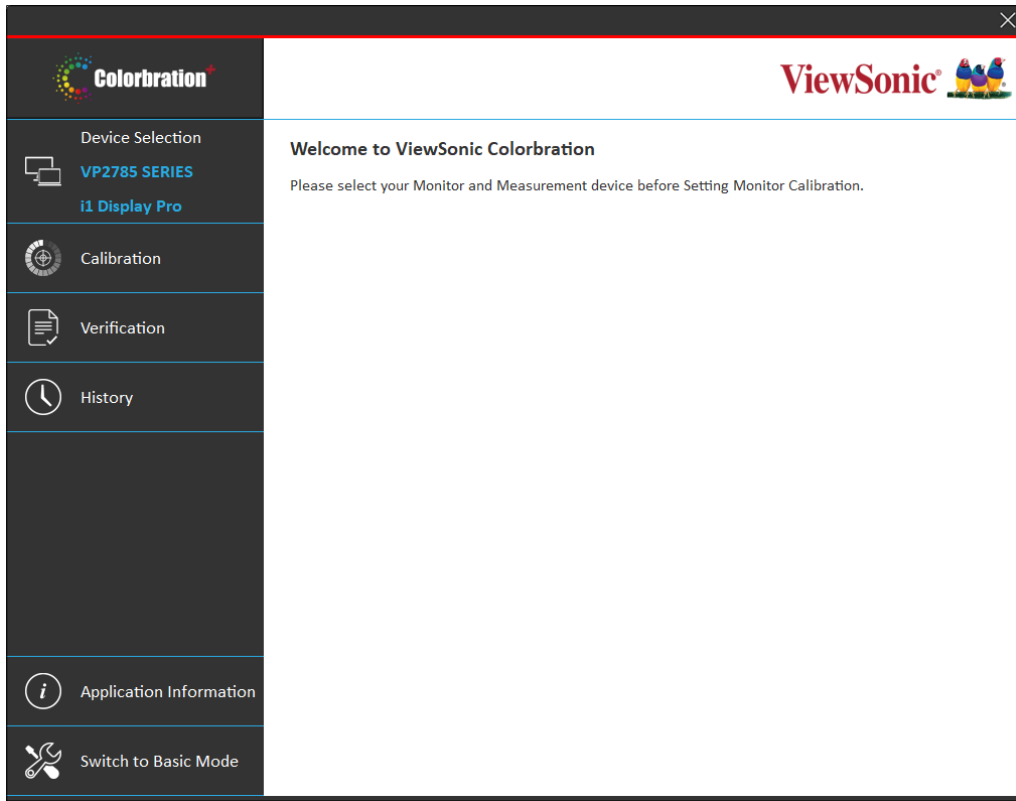
- Color Space Selection:** A list of color spaces is shown, with AdobeRGB selected. Other options include sRGB, DCI-P3, photography, web_design, and printing_AdobeRGB.
- Color Gamut Chart:** A CIE 1931 color space diagram is displayed, showing the target color gamut and the current monitor's gamut. The chart includes wavelength markers (380, 400, 430, 450, 470, 480, 500, 520, 540, 560, 580, 600, 620, 700) and a 'Target' line.
- White Point and Color Space Data:**
 - White Point: CCT : 6504 K, x : 0.3127, y : 0.329
 - Color space: Red x : 0.64, y : 0.33; Green x : 0.21, y : 0.71; Blue x : 0.15, y : 0.06
- Calibration Settings:** Luminance is set to 160 cd/m² and Target to Cal 1. A 'Start Calibration' button is visible.
- Application Information:** Includes 'Switch to Advance Mode', 'Monitor VP2785 SERIES', and 'Colorimeter i1 Display Pro'.
- Calibration Settings:** A blue button labeled 'Calibration Settings AdobeRGB' is present.

注意事項: キャリブレーションの設定は、「輝度(Luminance)」を調整し、結果をユーザープロファイル(Cal 1/2/3)に保存できます。保存したプロファイルを選択することでセッティングをカスタマイズできます。



Advanced Mode

このモードは、Basic Modeにある基本的なオプションに加えて、サイドバーメニューにより、さらに詳細なオプションをご提供いたします。

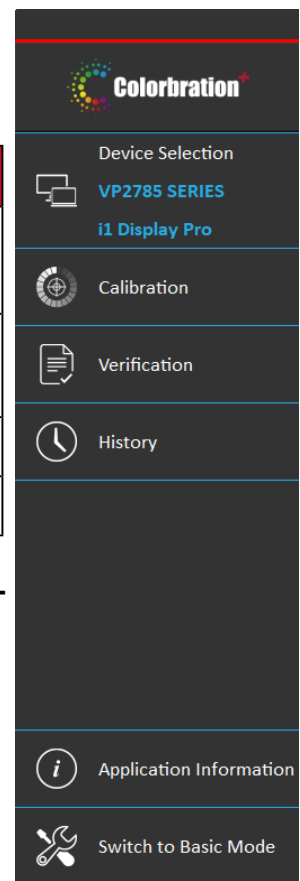


サイドバーメニュー

Advanced Modeの左側には、サイドバーメニューがあります。

メニューオプション	詳細
Device Selection	ディスプレイと測色センサーを選択します。
Calibration	キャリブレーション設定を選択し、キャリブレーションを始めます。
Verification	検証設定を選択し、検証を始めます。
History	キャリブレーション履歴を確認します。

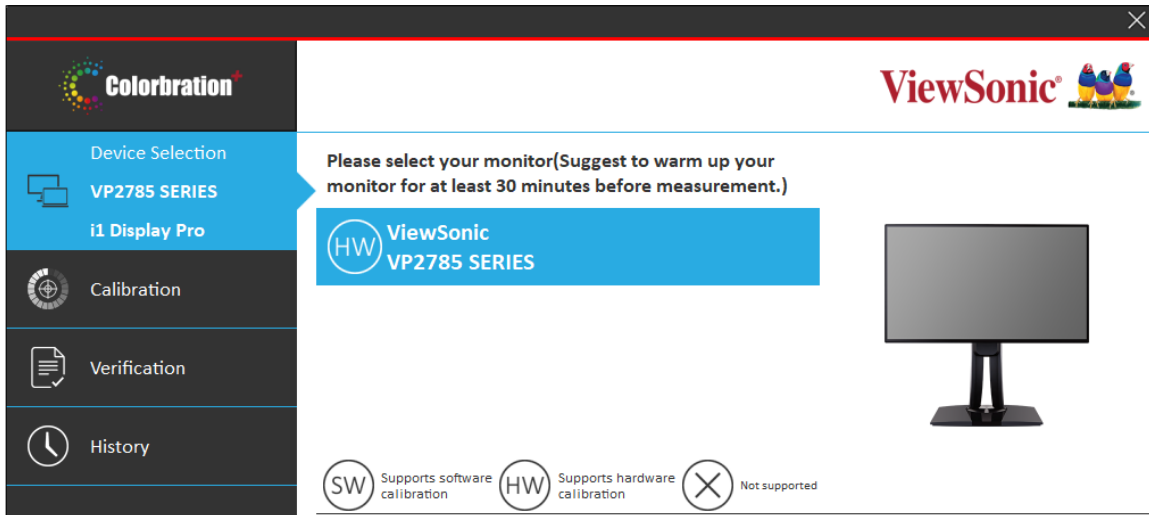
注意事項: 詳しいご紹介について、13ページの「サイドバーメニュー」をご覧ください。



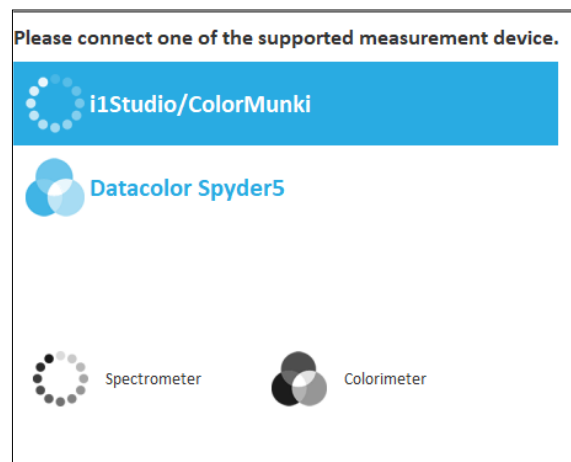
一般的な操作

Advanced Modeのキャリブレーションプロセスを操作するには、下記手順に従ってください。

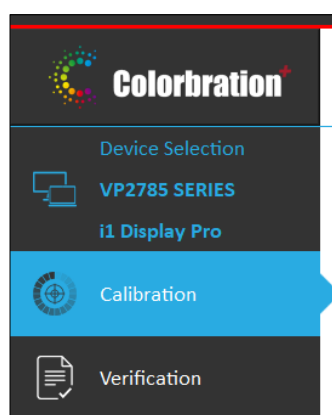
1. Device Selectionを選択し、使用可能なオプションから校正したいディスプレイを選択します。



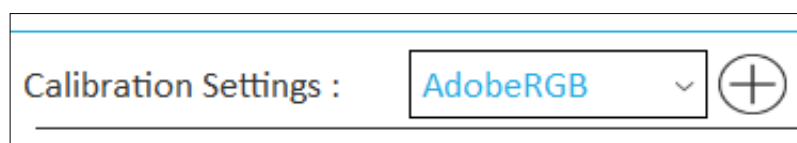
2. 使用可能なオプションから、使用したい測色デバイスを接続して選択します。




3. サイドバーメニューにCalibrationを選択してください。



- プルダウンメニューから望ましいキャリブレーション設定を選択する、またはカスタムプロファイルを作成します。詳細については、17ページの「キャリブレーションプロファイルのカスタマイズ」をご覧ください。



- キャリブレーション設定が選択されたら、 Start calibration を選択してキャリブレーションプロセスを開始します。
- 画面に表示されている枠に測色センサーを合わせます。



- Nextを選択し、キャリブレーションを始めます。

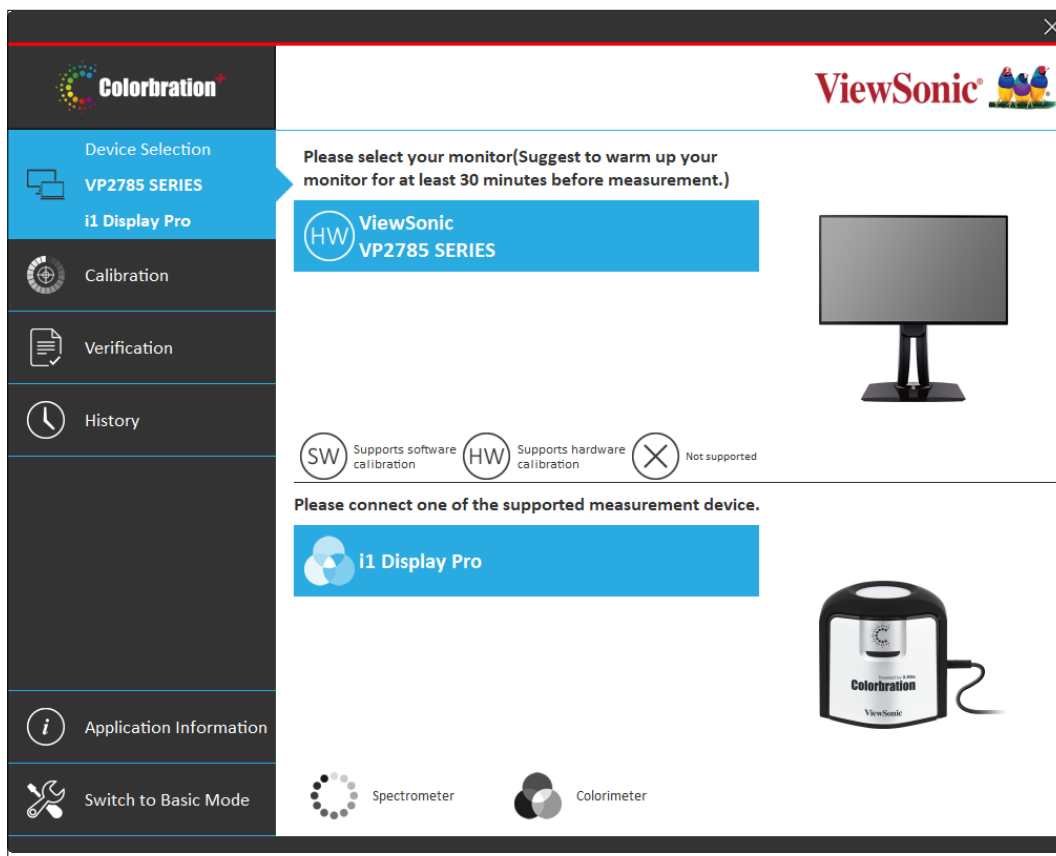
注意事項: キャリブレーションが実行する間に、画面は複数のカラーパターンで急速に点滅します。

- キャリブレーションが完了すると、結果が表示されます、必要に応じて、レポートを保存することができます。詳細については、19ページの「キャリブレーション結果」をご覧ください。

サイドバーメニュー

サイドバーメニューは、下記オプションが含まれます、
Device Selection, Calibration, Verification, History。




Device Selection メニュー





メニューオプション	詳細
ディスプレイ選択	キャリブレーションが実行するディスプレイを選択します。
測色センサー選択	キャリブレーションに使用する測色センサーを選択します。

注意事項:

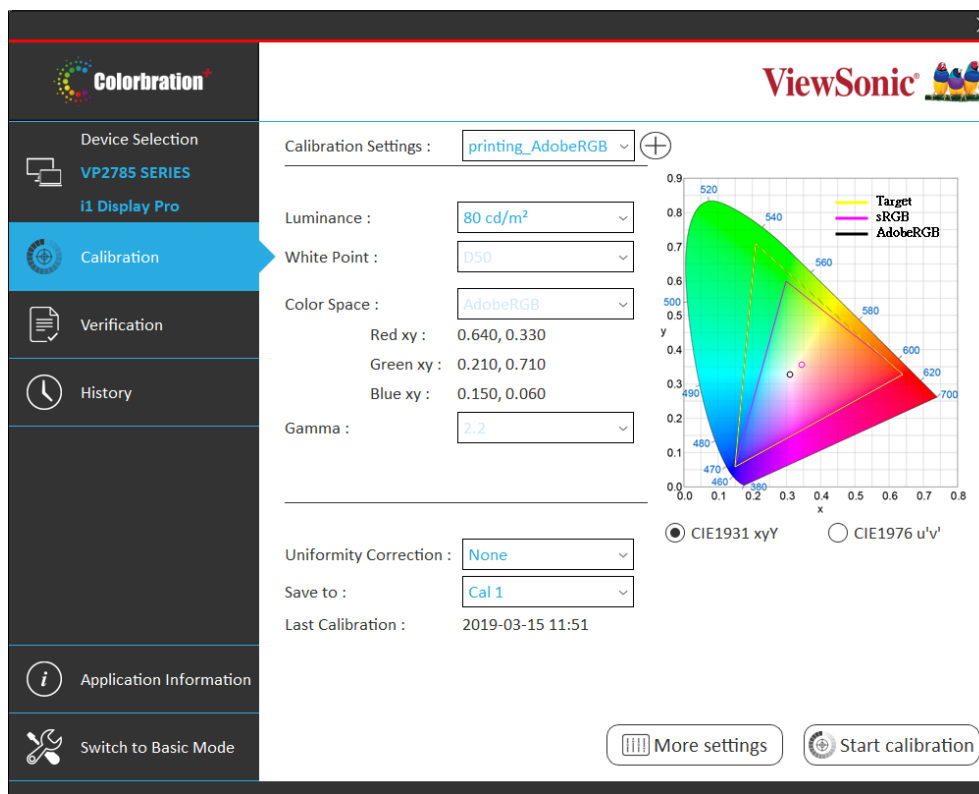
- ・ ディスプレイを選択するとき、下記アイコンをご確認ください。

アイコン	詳細
	ソフトウェアキャリブレーションに対応可能。
	ハードウェアキャリブレーションに対応可能。
	キャリブレーションに対応できません。

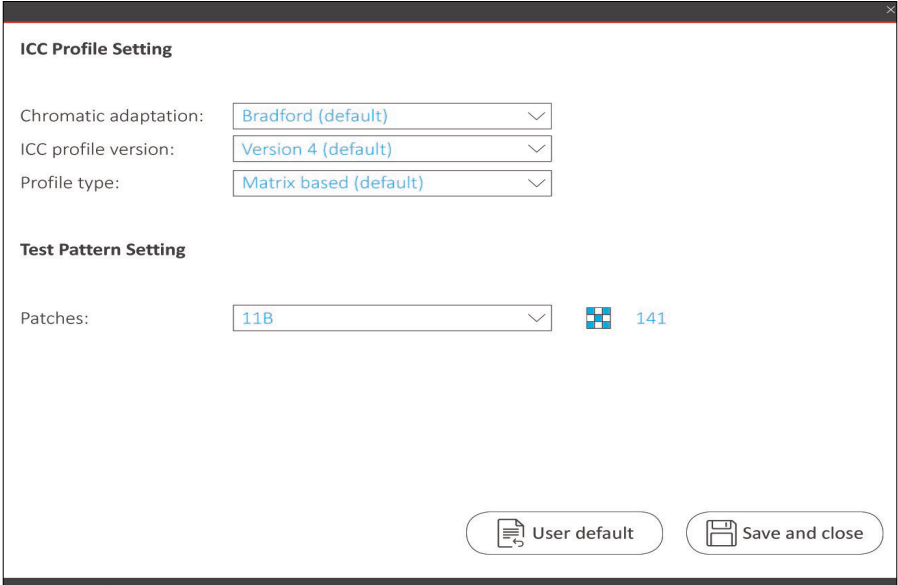
- ・ 測色センサーを選択するとき、下記アイコンにご注意ください。

装置	詳細
	分光器
	測色器

Calibration メニュー

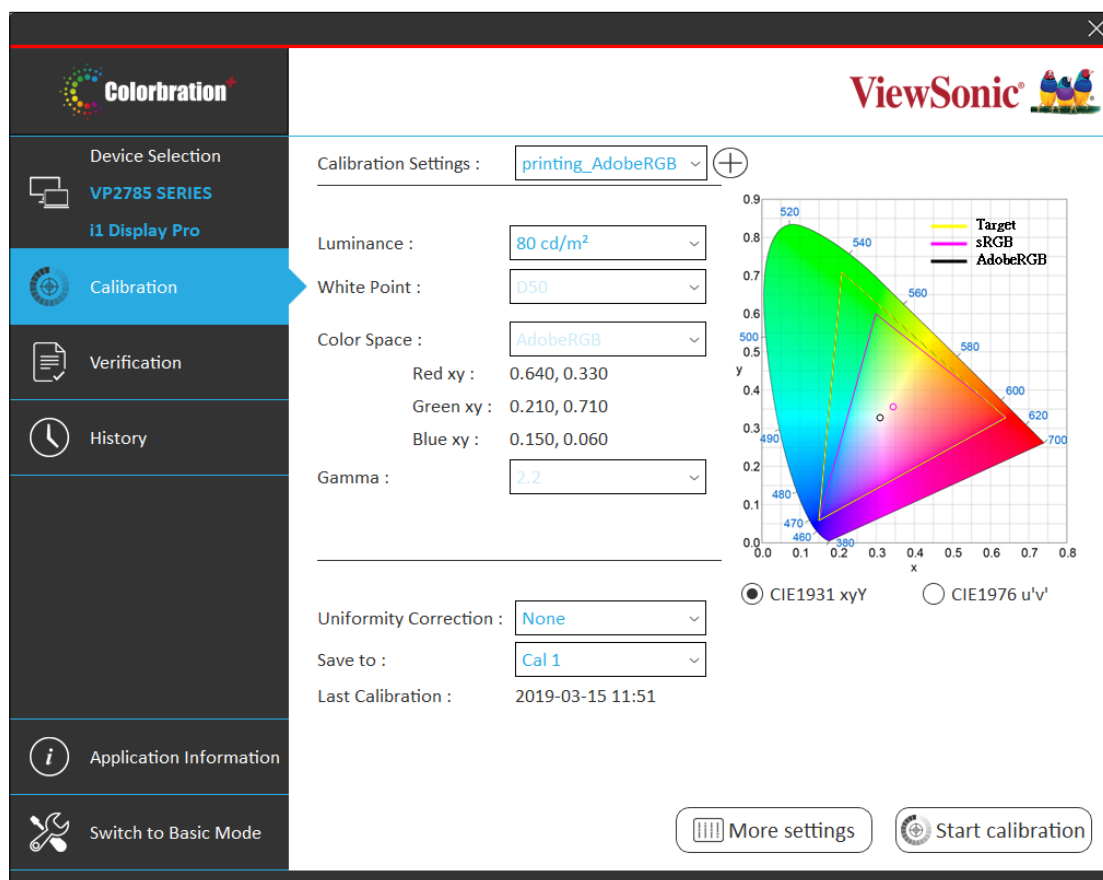


メニューオプション	詳細
Calibration Settings	<p>プリセットされた設定から選択できます。</p> <p><u>Adobe RGB</u> 正確なAdobe RGB標準の色域とガンマ。</p> <p><u>sRGB</u> 正確なsRGB標準の色域とガンマ。</p> <p><u>DCI-P3</u> 正確なDCI-P3標準の色域とガンマ。</p> <p><u>Photography</u> 写真の作業に最適な色域。</p> <p><u>Web Design</u> ウェブデザインに最適な色域。</p> <p><u>Printing</u> 印刷のカラーチェックなどプリプレス作業に最適な色域。</p>
Luminance	光源が特定の方向で放射する明るさ。
White Point	装置の最も明るい白の色と強さ。
Color Space	ディスプレイのカラー出力に使用する色空間を選択できます。
Gamma	グラデーションカーブの傾きによって、画像に見られるコントラストの量。

<p>Uniformity Correction</p>	<p>画面の暗いスポット、不均一な輝度、判読不能な画像など輝度と色の均一性の不均衡を補正します。</p> <p><u>None</u> 均一性補正なしのキャリブレーション。</p> <p><u>3x3</u> 3x3グリッドを使用した均一性補正。</p> <p><u>5x5</u> 5x5グリッドを使用した均一性補正。</p> <p><u>7x3</u> 7x3グリッドを使用した均一性補正。</p>
<p>Save To</p>	<p>キャリブレーション後、カスタマイズされた設定を保存して設定します。</p> <p><u>Cal 1 / Cal 2 / Cal 3</u> キャリブレーション結果をディスプレイに保存するには、Cal 1、Cal 2、またはCal 3を選択できます。</p>
<p>Last Calibration</p>	<p>最後のキャリブレーションの日時を表示します。</p>
<p>More Settings</p>	<p>ポップアップウィンドウで、ICCプロファイル関連のオプションとテストパターンパッチを選択できます。</p> 
<p>Start Calibration</p>	<p>キャリブレーションのプロセスを始めます。</p>

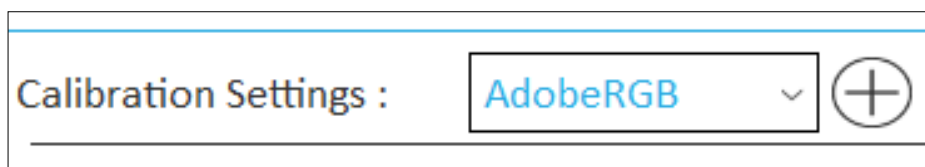
キャリブレーションプロファイルのカスタマイズ

プリセットされた設定に加えて、ユーザーは特定のニーズに合わせて、カスタマイズキャリブレーションプロファイルを作成することもできます。ユーザーは輝度、白色点、色空間、ガンマを調整できます。



新しいカスタマイズプロファイルを作成するには、下記手順に従ってください。

1. サイドバーメニューにて、Calibrationを選択します。
2. Calibration Settingsに ⊕ アイコンをクリックします。



3. Luminance、White Point、Color SpaceおよびGamma、調整したい項目を設定します。
4. カスタマイズプロフィールを名付けると、Saveをクリックします。

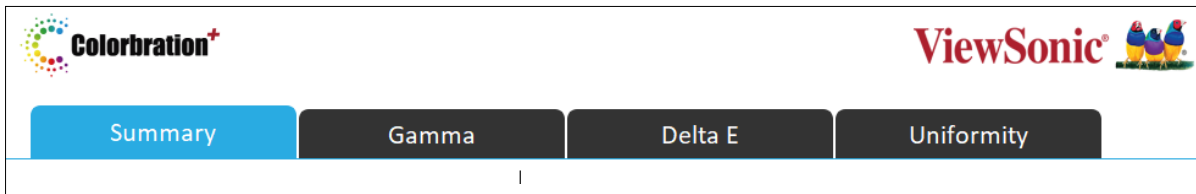


Calibration Settings :

キャリブレーション結果

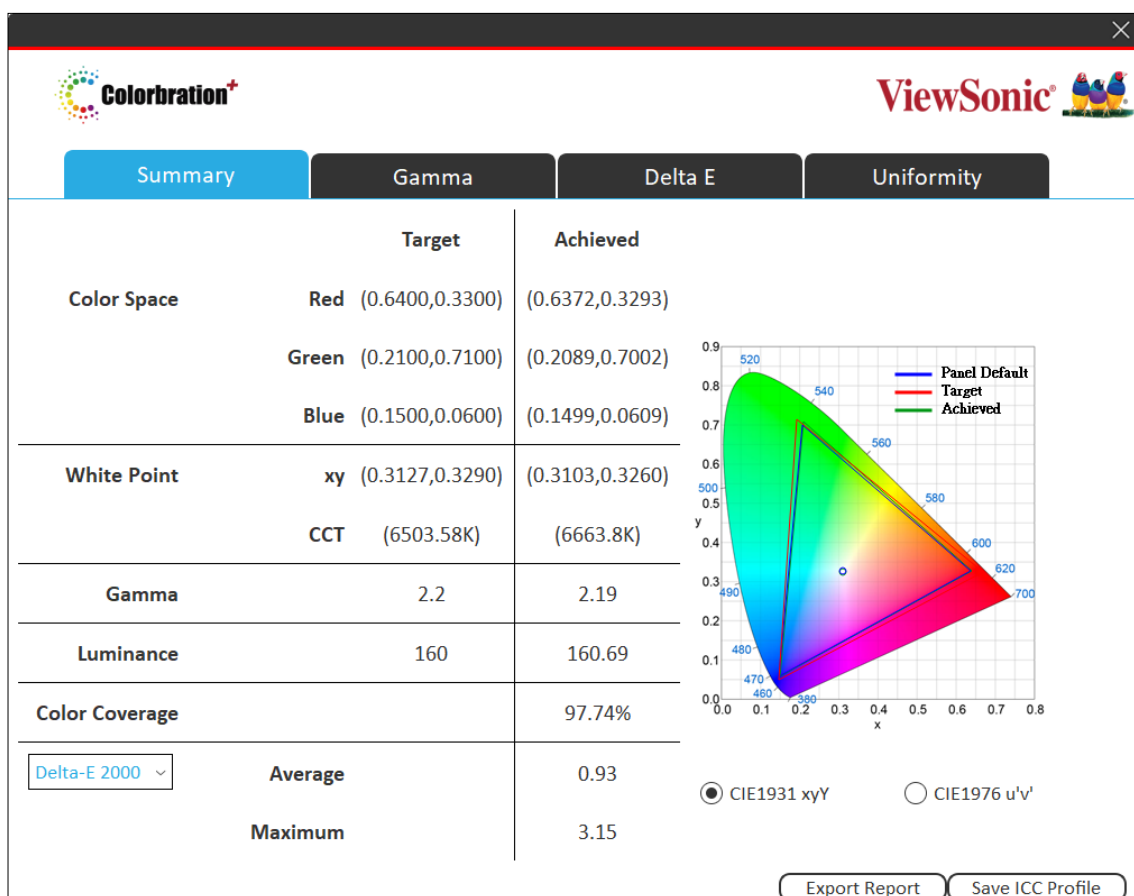
キャリブレーションが完了すると、結果が表示されます。

ユーザーは、Summary、Gamma、Delta E、およびUniformityの4つのタブから結果を確認できます。



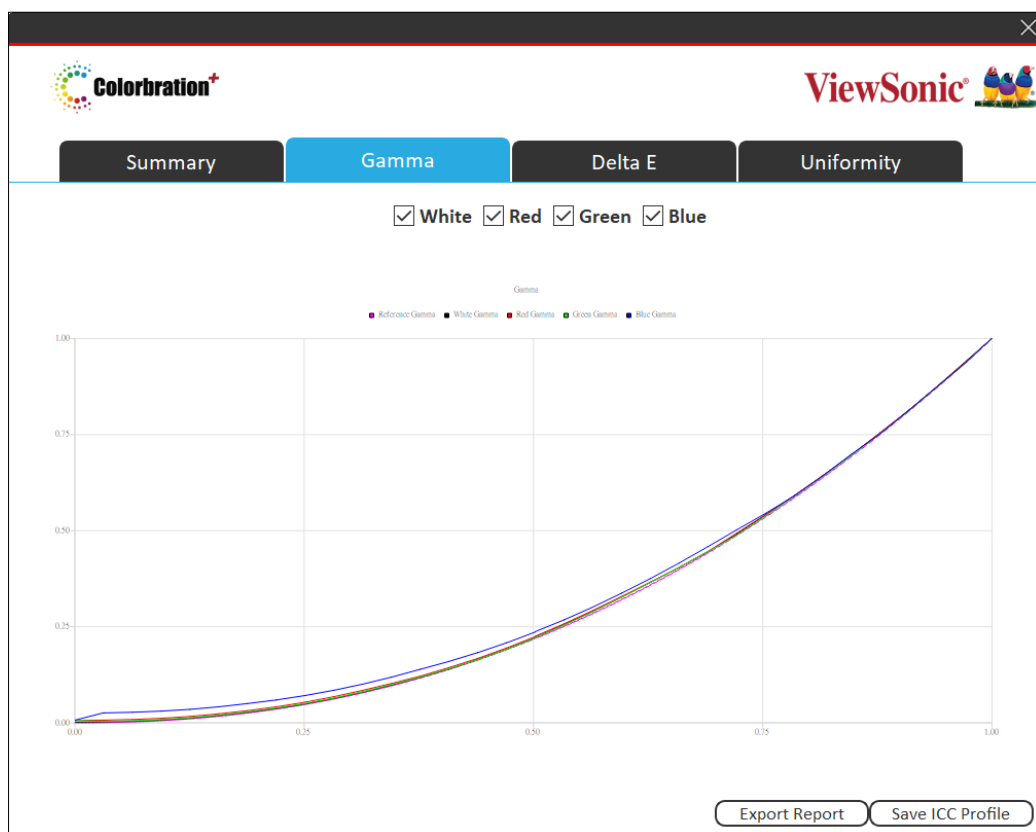
Summary

Summaryのタブには、色空間、ホワイトポイント、ガンマ、輝度、カラーカバレッジ、およびデルタEのターゲットと達成の値が表示されます。



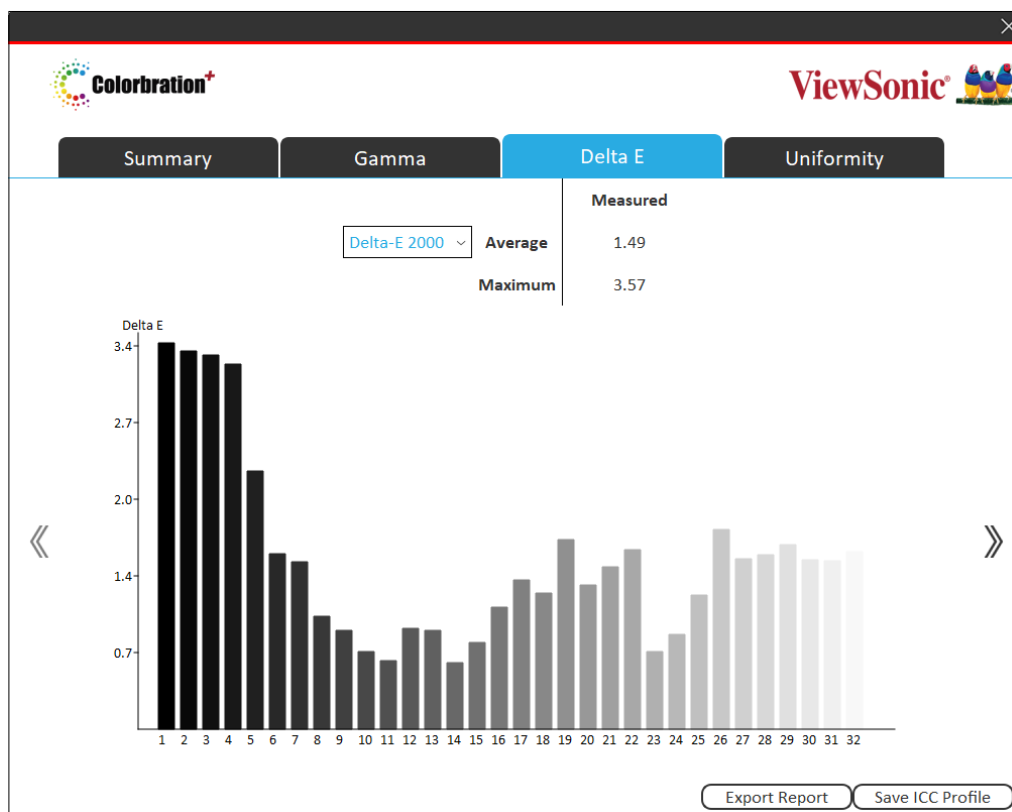
Gamma

Gammaのタブは、さまざまな値が表示されます。



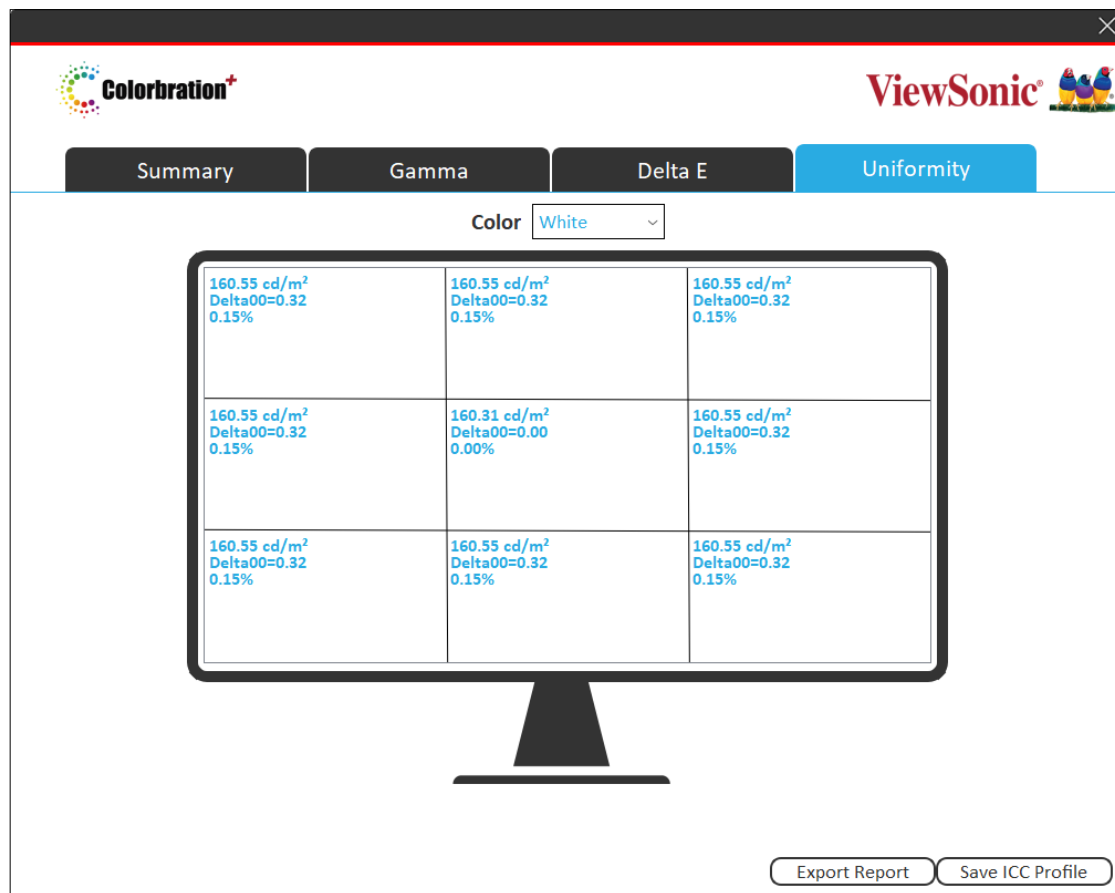
Delta E

Delta Eのタブには、Delta Eの最大値および平均値のターゲットと達成の値が表示されます。

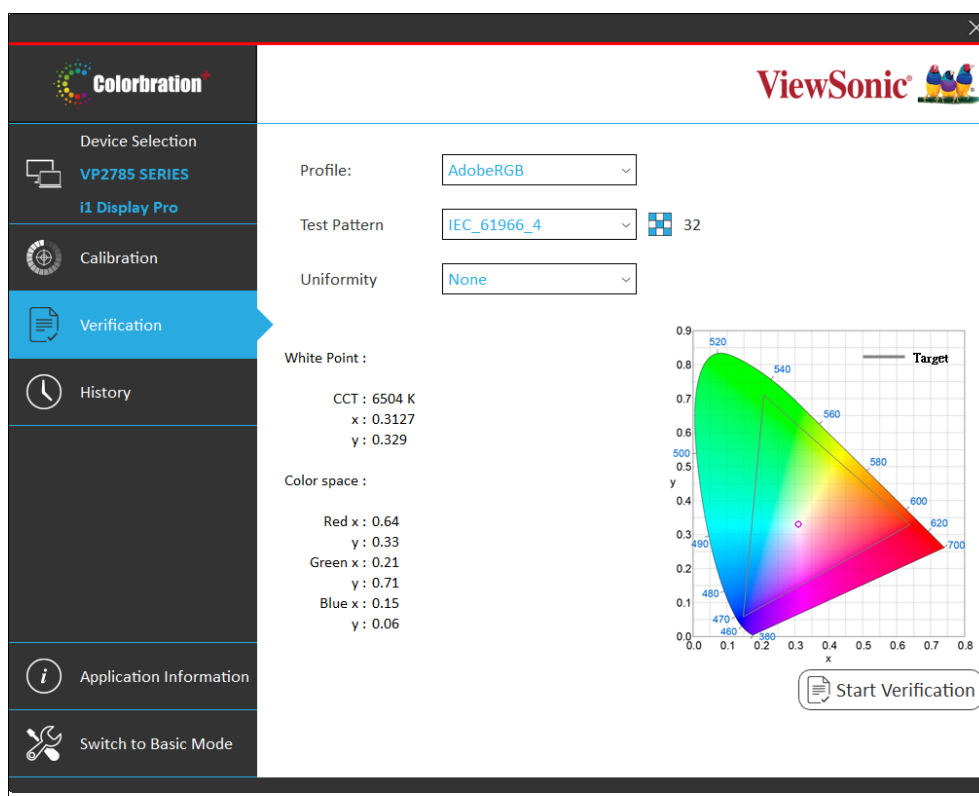


Uniformity

Uniformityのタブは、ディスプレイの画面の輝度値が表示されます。



Verification メニュー

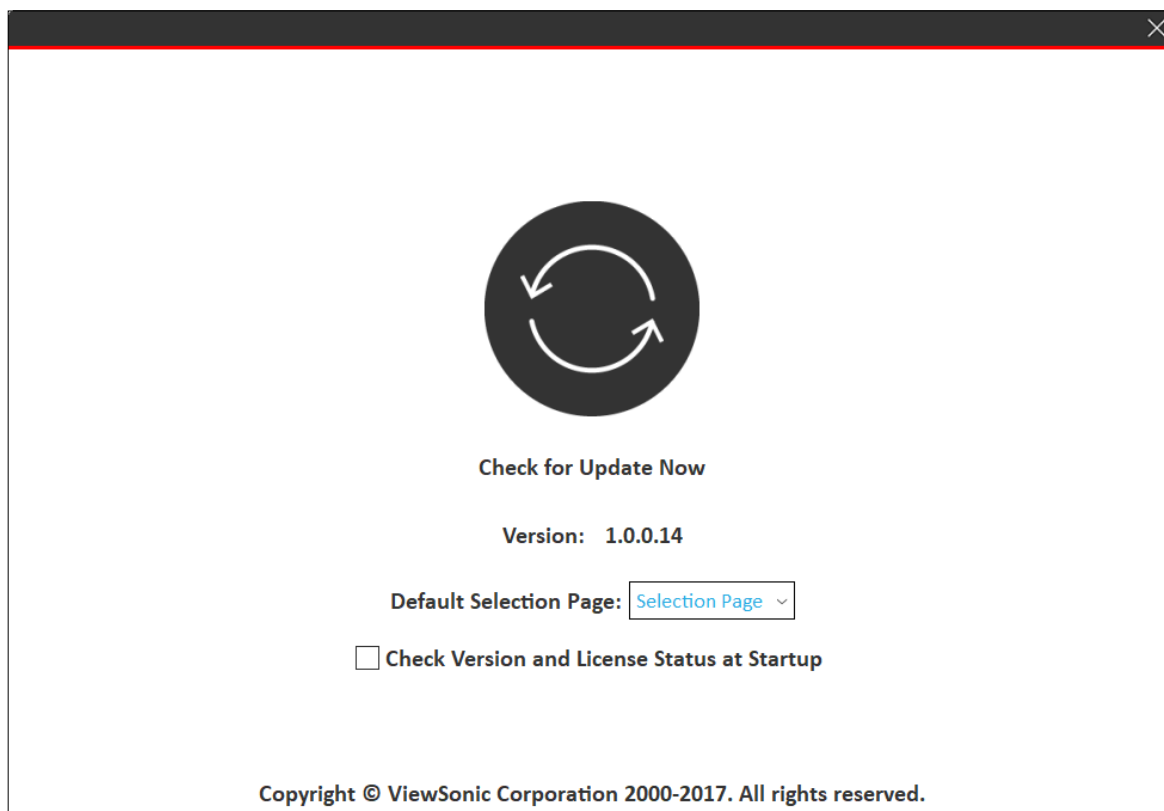


メニューオプション	詳細
Profile	プロファイルからさまざまな色空間を選択します。
Test Pattern	キャリブレーションに必要なテストパターンを選択します。
Uniformity	均一性補正グリッドを調整します。
Start Verification	検証のプロセスを始めます。

> 付録

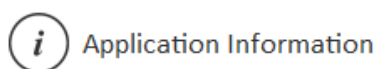
ソフトウェアアップデート

新しいバージョンが利用可能な場合、下記画像のように、Colorbration+を起動時にポップアップメッセージが表示されます。

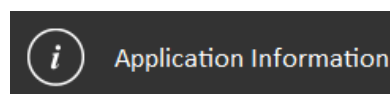


さらに、Basic ModeまたはAdvanced Modeで、Application Informationを選択して、アップデートを確認できます。

Basic Mode:



Advanced Mode:



注意事項: 正常に動作および最新の機能をお使いいただくために、常に最新のソフトウェアバージョンに更新することをお勧めします。



ViewSonic®
See the difference®